

文学院長 殿

博士論文全文のインターネット公表保留延長申請書

私は、博士論文全文の公表保留を申請していましたが、当初予定していた公表保留事由の解消見込み時期においても下記の事由により公表することができませんので、公表保留の延長を申請します。

なお、全文を公表できない事由が解消した際には、速やかにその旨を報告します。

1. 公表保留延長を希望する事由

- ☐ 博士論文のデータを含む論文を学術ジャーナルに投稿済、あるいは投稿予定であり、当該学術ジャーナルの規定により、インターネット公表できない期間が継続するため。

(公表延長可能期間：1回の申請につき1年間)

※ジャーナル名、投稿時期等を具体的に明記すること。

- ☐ 博士論文の内容を書籍として出版したため。 (出版日：令和 年 月 日)
(公表延長可能期間：出版日から起算して原則10年間)

2. 当初の保留申請事由解消見込み時期

令和 年 月 日

3. 新たに希望する保留申請事由解消見込み時期

☐ 令和 年 月 日

☐ 未定 (著作権が出版社に譲渡され、公表の合意が得られない場合のみ選択可)

申請者氏名 _____ 印
※自署の場合は押印不要

学位取得日 _____ 令和 年 月 日

学位記番号 _____

(申請者より委任を受けた場合)

教員氏名 _____ 印
※自署の場合は押印不要